

式 辞

ことのほか暖かい冬でした。柔らかな陽射しに春の訪れを感じさせる季節となりました。

新型コロナウイルス感染防止の観点から規模の縮小を余儀なくされましたが、この佳き日に御来賓・関係者の皆様の御臨席を賜り令和元年度福島県立白河高等学校の卒業式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

只今卒業証書を手にした二百三十九名の皆さん、卒業おめでとうございます。これまで君たちが重ねてきた努力を大いに称えたいと思います。保護者の皆様、お子様の成長した姿を目にされ感慨もひとしおのことと推察いたします。

さて君たちは、旧来型センター試験受験の最後の世代で、令和最初の卒業生となりました。学校を取り巻く環境は大きく変化し、本校も少子化の流れを受け、学年六クラスへ移行した最初の学年となりました。地域社会との繋がりや三年間の生徒の成長がこれまで以上に問われる時代になったと感じています。

そうした意味で、平成、令和をまたいだ君たちの三年間の歩みは白高の歴史の中で誇り得るものです。学習に、部活動に、生徒会活動に力を発揮し、大いに成果をあげました。大学受験においても諦めず、希望に沿った進路先に果敢に挑戦し、奮闘しています。全体を高め合う中での君たちの活躍も見事でした。校内スポーツ大会やマラソン大会、郡内一周駅伝大会は学年を越えて交流が進み、大きな盛り上がりを見せました。特に郡内一周駅伝大会は台風や豪雨の影響で開催が危ぶまれましたが、多くの方々の努力と熱意で規模を縮小して開催に至りました。ゴールで最終区のランナーを迎え入れて皆で歌を歌っていた姿が焼き付いています。三年生の君たちがリーダーシップを発揮して引張ってくれました。君たちには、心から楽しむという気持ちが溢れていました。

三年生とは全員面談しましたが、学校生活を意欲的に送っていて、楽しいと答えた人が多かったのは何よりも嬉しく思いました。相手を受け入れる度量が広がり、人間関係での成長を感じられると話す人もいました。そうした言動の裏付けが前述のように学校行事を楽しむ雰囲気や意欲的な部活動等によく表れていました。チームメイトを全力で応援したり、皆で力を合わせより良い物を作ろうという姿勢に表れていました。そうしたことこそが楽しむことの原点なのでしょう。

学校としての力量は卒業生が学校生活を通じ、どの程度成長したのかという点に関わってきます。その点では私たち教職員はとても誇らしい気持ちです。卒業生の思いが下級生に受け継がれ、淘汰された良いものが積み重ねられて伝統になります。「魅力ある白河高等学校」の創出に向けて卒業生の今後の動向が大きく影響することはいうまでもありません。

東日本大震災から九年が経過しようとしています。高速道路の延伸等インフラの整備が進み、明るい兆しも見え始めていますが、風評被害、汚染水処理等課題は山積しています。

今年はオリンピック・パラリンピックが東京で開催されますが、福島県でも野球・ソフトボールが行われます。新型コロナウイルスの影響がどこまで及ぶのか懸念されていますが、あの震災を経験したからこそ福島の今を知っていただくとともに、我々が世界の人々をどう受け入れていくのか課題となることでしょう。一刻も早くウイルス感染の動きが収束し、平和へのメッセージが福島から発信され、特定の人や民族・国に対して排他的な動きが助長されないよう祈るばかりです。

こうした時代の今、一連の教育改革に見られるように、社会は思考力・判断力・表現力を、そして何よりも主体的に学ぶ力を求めています。周りに流されるのではなく、自ら判断し、自ら切り開くことのできる人に、そして、得意な分野をいかし、ぜひ世界であるいは地域で社会に貢献できる人に育ててほしいと切に願っています。白河高校で君たちはその礎を築いてきました。この白河の地で磨かれた感性、素直なありのままの心でこれからのステージに挑んでください。貪欲に良いものを吸収しようとする姿勢や思いやりにあふれた人たちに囲まれ、おかげさまでと感謝できる心が皆さんの最大の武器です。

そうはいつでも今後、壁にぶち当たることもあるでしょう。人間関係や自分の能力の限界に悩むこともあるでしょう。そんな時、高校時代を振り返ってほしいのです。青春を費やした教室を、グラウンド、体育館を、そして仲間の、先生方のことばを。そこには悩みを解決する糸口がきっとあることでしょう。

新たなステージでは、自分とは考え方、価値観の違う人もいることでしょう。あらためて君たちに伝えたいことは多様性を認識し、自分とは違う一人ひとりの尊厳を大切にしてほしいということです。それがひいては自分、自国が大切にされることに繋がってきます。他の人への思いやりの心を忘れず、自らの可能性を信じ、堂々と社会に立ち向かっていってください。皆さんは決して一人ではありません。残念ながら参列できなかった下級生を含め私たちは、白河で育った皆さん一人一人を心から応援しています。

結びに、本日御列席いただきました御来賓、関係者、保護者の皆様に改めて感謝を申し上げます。また、本日卒業する皆さんに洋々たる前途が広がることを祈念し、式辞といたします。

令和二年三月一日

福島県立白河高等学校長

田中 誠